



基本構想

愛媛県総合教育センターの研究の目的

学校教育に関する専門的、技術的事項の調査・研究を行うとともに、その成果を調査・研究発表会や研修講座等を通じて教職員に還元することによって、学校教育の改善に資する。

1 研究主題

「未来を創造する力を育む学校教育への総合的な支援」

2 研究主題設定の理由

AIやIoTといった技術が発展した Society 5.0 時代の到来など、情報化やグローバル化の進展により、教育をめぐる状況の変化が速度を増している中、学校現場では、様々な分野で発生する予測できない変化を前向きに受け止めていくことが求められている。そこで、学校が子どもたちの多様性を受容し、それに対応できる組織となり、教師一人一人が児童生徒の多様な教育ニーズに対応した学びを提供するため、継続的に新しい知識・技能を学び続けていくことが必要である。

令和3年1月の中央教育審議会答申では、令和の日本型学校教育における教職員の姿として、「環境の変化を前向きに受け止め」、「教職生涯を通じて学び続け」、「子ども一人一人の学びを最大限に引き出し」、「子どもの主体的な学びを支援する伴走者」であることを明示した。また、令和4年、教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部改正により、免許更新制の発展的解消が図られ、12月の中央教育審議会答申において、「新たな教師の学びの姿の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成」について、改めて取りまとめられ、子どもたちの知・徳・体を一体で育む日本型学校教育の良さを受け継ぎつつ、更に発展させる新しい時代の学校教育の実現を検討していくことが急務となっている。

本県では、愛媛県教育基本方針・重点施策の一つとして、「確かな学力を育てる教育の推進と未来を担う人材の育成」を掲げ、学習指導要領を踏まえ、児童生徒の個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現のため、1人1台端末等を日常的に活用し、県独自のICT学習支援システム（EILS）の利用拡大やSTEAM教育の推進など、ICTの利便性を享受しながら、確かな学力の定着と向上に努めている。さらに、「教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化」を掲げており、各種研修の充実やオンライン化を図るなど、教職員一人一人の専門的知識・能力の向上を図るとともに、教職員が誇りややりがいを持って安心して働けるように、学校における働き方改革を推進し、学校組織の活性化に努めている。

本センターは、関係機関との緊密な連携を図りながら、研修、研究、教育相談、学校支援の4事業を通じて、国が示した教師に共通的に求められる資質・能力（教職に必要な素養、学習指導、生徒指導、特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応、ICTや情報・教育データの利活用）の向上を目指しており、子どもたちの生きる力を育む学校教育を総合的に支援する使命がある。学習指導要領が、小、中学校において、全面的に実施されているのに続いて、今年度から高等学校でも年次進行で実施されており、愛媛の未来を創造する子どもたちの育成に資する学校教育の一層の充実を図るため、本センターの機能を生かした、学校教育を総合的に支援する方策を研究するために、本研究主題を設定した。

3 研究の内容

本年度の研究内容は、次のとおりである。

「若手教員への「愛」ある支援プロジェクトー総合教育センターの研修・教育相談・学校支援を通してー」については、本センター内に、各部・室横断の若手教員支援プロジェクトチームを組織し、研究を行った。関係諸機関やセンター各室間で情報を共有し、若手教員の資質・能力の向上を目指した支援（研修事業）と、若手教員の不安や悩みの解消と課題の解決に向けた支援（相談事業）を行うことで、若手教員の具体的な悩みを把握するとともに、一人一人に応じた支援の大切さを確認した。今後も、このプロジェクトの取組を継続していく。

企画開発室では、「学校のチーム力向上を目指したサポータティブな組織づくりの在り方ー学校事務職員のよりよい校務運営参画に向けた研修講座の開発を通してー」について研究を行った。「チームとしての学校」の実現のため、事務職員を含む教職員が、チームとして支援し合うことができる組織の在り方や、事務職員に求められる資質・能力について考察し、事務職員のよりよい校務運営参画を目指した研修講座を、令和5年度から実施することとした。

情報教育室では、「自己教育力を育むための1人1台端末活用に関する研究ー「ICT表現スキル」の向上を図る授業実践を通してー」の題目で、研究を行った。本研究では、愛媛県ICT教育推進ガイドラインで示されている「ICT表現スキル」に着目して、子ども自らが課題を見付け、解決に向けて粘り強く取り組む「自己教育力」を育むための、1人1台端末の活用の在り方について考察を深め、小・中学校2校の授業実践を行った。

教科教育室では、「学習指導に生かせる効果的なICT活用の在り方ー教科目標の達成を目指してー」について研究を行った。2年研究の1年次（本年度）は、教科指導におけるICT活用の意義とその有効性について考察し、本センターの研修等で、ICT活用に関する講座の実施及び自己研修に活用できる動画の作成を行った。2年次（来年度）は、本年度作成した研修動画セットを、出前講座や本センターの教科に関する研修で活用する。また、協力学校において研修動画セットを活用して、その改善を図り、教科目標を達成するために、効果的にICTを活用した授業実践等の検証を行う。

生徒指導等の分野では、教育相談室が、「いじめの早期対応に関する研究ー教職員の対応力の向上を目指した研修資料の活用を通してー」の題目で、研究を行った。1年次（昨年度）は、「いじめの早期対応に関するアンケート調査」を実施し、その課題を踏まえ、2年次（本年度）は、作成した研修資料を協力学校において活用し、いじめの早期対応に関する教職員の対応力の向上に係る研修効果を把握することができた。今後は、研修資料に修正を加えて改善し、各学校が活用できるようにするとともに、本センターの研修でも活用していく予定である。

特別支援教育室では、「生活単元学習の授業づくりに関する研究ー各教科等とのつながりのある単元設定から学習評価までの考え方ー」について、知的障がい教育における生活単元学習の授業に焦点を当て、2か年継続の研究として取り組んだ。1年次（本年度）は、「ガイドブック（案）」について、研究員への意見聴取を行い、適切な内容であることを検証した。また、具体例の提示や構成等に関する課題を基に、改善を行った。2年次（来年度）は、改善した「ガイドブック（案）」を用いた生活単元学習の授業実践を行うとともに、その取組をまとめ、特別支援学級等での授業づくりを支援する資料を提供し、その効果を検証する。

4 研究成果の還元

各研究の成果については、調査・研究発表会及び研究紀要において公表し、研究成果物は、本センター各種研修講座等で活用するとともに、ホームページにおいても情報提供を行う。

また、今後、研究成果を踏まえた研修事業・教育相談事業・学校支援事業を、本センターにおいて実施し、学校教育を総合的に支援することで、各学校及び教職員の教育活動の更なる充実を図り、未来を創造する子どもたちに「生きる力」が育まれることを願っている。

5 研究構想

「^{えがお}愛顔あふれる愛媛県」の実現 ～愛媛の子どもたちのために～

教育基本法第9条

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

教育振興基本計画

- 1 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
- 2 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
- 3 生涯学び、活躍できる環境を整える
- 4 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する
- 5 教育政策推進のための基盤を整備する

学習指導要領

- ・社会に開かれた教育課程の実現
- ・育成を目指す資質・能力の明確化
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・学習評価の充実
- ・特別な配慮を必要とする児童・生徒への指導
- ・カリキュラム・マネジメントの確立

これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について

- ・時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力や、情報を適切に収集し、選択し、活用する能力や知識を有機的に結び付け構造化する力
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、道徳教育の充実、小学校における外国語活動の早期化・教科化、ICTの活用、特別な支援を必要とする児童生徒等への対応などの新たな課題に対応できる力量
- ・「チーム学校」の考えの下、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、組織的・協働的に諸課題の解決に取り組む力



<研究主題>

未来を創造する力を育む学校教育への総合的な支援

<研究題目>

- 1 若手教員への「愛」ある支援プロジェクト
－総合教育センターの研修・教育相談・学校支援を通して－
- 2 学校のチーム力向上を目指したサポート型組織づくりの在り方
－学校事務職員のよりよい校務運営参画に向けた研修講座の開発を通して－
- 3 自己教育力を育むための1人1台端末活用に関する研究
－「ICT表現スキル」の向上を図る授業実践を通して－
- 4 学習指導に生かせる効果的なICT活用の在り方
－教科目標の達成を目指して－
- 5 いじめの早期対応に関する研究
－教職員の対応力の向上を目指した研修資料の活用を通して－
- 6 生活単元学習の授業づくりに関する研究
－各教科等とのつながりのある単元設定から学習評価までの考え方－

第六次愛媛県長期計画

愛媛の未来づくりプラン

未来を拓く子どもたちの育成

- ・魅力ある教育環境の整備
- ・確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進
- ・特別支援教育の充実
- ・教職員の資質・能力の向上

愛媛県教育振興に関する大綱

- 1 学校・家庭・地域が連携した教育の推進
- 2 安全・安心で充実した教育環境の整備
- 3 未来を拓く子どもたちの育成
- 4 特別支援教育の充実
- 5 人権・同和教育の推進と児童生徒の健全育成
- 6 生涯学習の推進とスポーツ・文化の振興

愛媛県教育基本方針

- 1 社会総がかりで取り組む教育の推進
- 2 安全・安心で充実した教育環境の整備
- 3 確かな学力を育てる教育の推進と未来を担う人材の育成
- 4 豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進
- 5 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
- 6 特別支援教育の充実
- 7 互いの人権を尊重する教育の推進と児童生徒の健全育成
- 8 文化財の保存・活用の推進

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

教育センターの使命

関係機関との緊密な連携を図り、教職員の資質・能力の向上と生きる力を育む学校づくりを目指し、学校教育を総合的に支援する。

総合教育センター

| 研 修 | 研 究 | 教育相談 | 学校支援 |
|-------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 基礎研修の充実・強化と時代の要請を踏まえた研修の創造・実施 | 国や県の教育施策との連動と教育現場からの要請への積極的な対応 | 高度な専門性を生かした、多様な相談事例への迅速で適切な対応 | 学校における教育活動全般に関する教職員の取組の支援 |